

岡山県スポーツ振興 議員連盟

11月27日

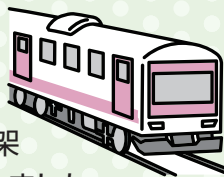
子どもたちへのスポーツの普及振興や国民スポーツ大会中国ブロック大会への支援など、スポーツの一層の推進について知事に要望しました。



JR山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差 事業整備促進岡山県議会議員連盟

12月19日

倉敷市や関係機関等との具体的な事業協議を速やかに実施し、鉄道高架化の整備を促進するよう、知事に要望しました。



岡山県議会交通政策推進 議員連盟

12月19日

岡山県地域公共交通ビジョンの実効性確保に向けた施策推進について知事に要望しました。



岡山県議会では23の議員連盟が組織されています。(令和8年2月現在) 詳細は県議会ホームページをご覧ください。



県議会

ト

ピ

ツ

ク

ス

議員連盟
要望活動

県議会議員は、会派を超えて議員連盟を組織し、県の抱える課題の解決や、豊かな県民生活の実現のために、勉強会や要望活動を行っています。今回は、11月から12月にかけて3つの議員連盟が行った知事への要望活動をご紹介します。



代表質問から

防災庁の 誘致について



わたなべ ともり
渡辺 知典 議員
【自由民主党】

Q 防災庁の誘致が実現すれば、災害対応力の向上にとどまらず、企業誘致や移住定住の促進など、多方面の波及効果が期待できる。本県の優位性を発信し、他自治体との差別化を図ることが誘致の成否を左右する。災害リスクの低さや西日本エリアにおける広域連携のしやすさなどの強みを最大限に生かし、本県が最適地であることをしっかりとアピールすべきだが、誘致にどう取り組むのか、所見を伺いたい。

A 防災庁の地方への設置は、首都直下地震などによる日本経済・社会全体のリスク分散はもとより、地方への人の流れを起こすことで、東京一極集中の是正や東京圏の構造的課題の改善に資するものと考えている。

引き続き、機会を捉え、日本全体に及ぶメリットや、お話の本県の優位性や強みをアピールするとともに、国の動向を的確に把握しながら、県議会をはじめ市町村や関係団体とも連携し、誘致に向けて取り組んでまいりたい。

(知事答弁)

路面標示の 維持管理について



やなぎだ さとし
柳田 哲 議員
【民主・県民クラブ】

Q 国・県・公安委員会の連携による路面標示の集中対策期間を設定し、県警察所管の規制標示を優先的に修繕するとともに、周辺道路の路面標示も一体的に修繕してはいかかが。また、路面標示の寿命延長を図るため、高耐久性塗料を用いた路面標示の導入を検討すべきと考えるが、所見を伺いたい。

A 路面標示の維持管理は、道路管理者と県警察とが連携して対策を行うことが重要であると考えており、令和7年8月に、国や県等による連絡調整会議が開催されるなど、関係機関の連携体制が構築されたところだ。引き続き、こうした会議も活用しつつ、お話の集中対策も含めて検討し、効果的・効率的な対策を進めてまいりたい。

また、高耐久性塗料の導入については、コスト面での効果も期待できるため、他県等での活用事例や県内での試験施工を通じて、実用性を見極めつつ導入を検討してまいりたい。

(知事答弁)

平和行政の 在り方について



よしだ ともる
吉田 徹 議員
【公明党】

Q 令和7年8月、第2次世界大戦の終結、広島・長崎への原爆投下から80年の節目を迎えた。国際情勢を踏まえれば、日本だけでなく世界の平和に向けた取組が求められている。天皇陛下は全国戦没者追悼式の「お言葉」において「戦中・戦後の苦難を今後とも語り継ぎ、将来にわたって平和と人々の幸せを希求し続けていくことを心から願う」と述べられた。本県でも戦争の惨禍を直接知る世代の減少が進んでおり、今後、戦争体験者が急速に減少していく中で、平和の尊さや戦争の記憶を次世代へ継承していく平和行政の根本的な取組が困難となっている。戦後80年という節目の年を踏まえ、本県の平和行政の在り方について、所見を伺いたい。

A 戦後80年の節目にあたり、県では、岡山空襲に関する記念講演会を開催したほか、県立図書館等での企画展示等を行っているところであり、こうした取組を通じて、平和の大切さを次世代に伝えてまいりたい。

(知事答弁)

9月
定例会

県議会を振り返る

9月定例会は、9月4日から会期30日間で開かれ、諸議案の審議を終えて10月3日に閉会しました。知事から提出された議案は計18件、議会提出の発議案は1件で、いずれも可決、認定または同意されました。9月9日には代表質問が行われ、渡辺知典議員(自由民主党)、柳田哲議員(民主・県民クラブ)、吉田徹議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行ったほか、9月12日と、17日から19日、25日の計5日間にわたり、19名の議員が一般質問を行いました。

9月定例会議決結果

■ 予算案	2件可決	(2件中)
■ 事件案件	3件可決	(3件中)
	3件認定	(3件中)
■ 条例案	8件可決	(8件中)
■ 人事案件	2件同意	(2件中)
■ 委員会発議	1件可決	(1件中)

一般質問を
行った議員

9月12日(金)

小倉 博 (自民)
須増 伸子 (自民)
天野 英雄 (共産)
本山 紘司 (自民)

9月17日(水)

小原 なおみ (自民)
坂本 村 (自民)
上田 勝亮 (自民)

9月18日(木)

福島 恭子 (自民)
鈴木 一史 (自民)
角屋 薫 (公明)
清水 薫 (公明)

9月19日(金)

井出 妙子 (公明)
福田 美恵 (自民)
正木 一太 (無所属)
佐古 一太 (無所属)

9月25日(木)

渡邊 直子 (民進)
大塚 京子 (民進)
木口 京子 (自民)

定例会
ポイント解説

防災庁

災害対応の司令塔として政府が検討を進める新たな組織。平時の事前防災や、災害発生直後の初動対応から復旧・復興までを一元的に担うことが構想されている。

